

# 令和7年度第2回大船渡市地域安全推進協議会 議事録

## 1 開催日時及び場所

- 日時 令和7年12月4日（木）午前10時30分から午前11時59分
- 場所 大船渡市役所 議員控室

## 2 委員数 19人

## 3 出席者

- 委員 14人（本人13人、代理出席1人）
  - ・ 江刺由紀子（気仙地区少年警察ボランティア協会）
  - ・ 伊藤英子（気仙地区保護司会）
  - ・ 菅原圭一（大船渡市社会福祉協議会）
  - ・ 安田由紀男（大船渡市防犯協会連合会）
  - ・ 新沼勝子（大船渡地区人権擁護委員協議会）
  - ・ 大和田恵美子（大船渡市更生保護女性の会）
  - ・ 石井美樹子（岩手県高等学校長協会気仙支会）
  - ・ 菅原宰喜（大船渡市小中学校長会）
  - ・ 千葉智子（大船渡市農業協同組合）
  - ・ 阿部なつ子（大船渡市交通指導隊）
  - ・ 藤原裕一（大船渡警察署交通課）
  - ・ 安居清隆（大船渡市市民生活部）
- 代理出席
  - ・ 館目崇史（大船渡市教育委員会事務局 佐藤和生委員の代理）
- 事務局（大船渡市市民生活部市民環境課） 4人
  - ・ 新沼優（事務局長、課長）
  - ・ 白土美都（課長補佐）
  - ・ 大平博光（係長）
  - ・ 須賀眞央（主事）

## 4 議事の経過（情報交換等）

### （1）開会

白土課長補佐の司会により進行

### （2）会長あいさつ

江刺会長からあいさつ

### (3) 講　　話

#### ① 「管内の交通事故発生状況等について」

※ 大船渡警察署 藤原交通課長から説明（資料集 資料 No. 1）

- 令和 7 年 10 月末現在の岩手県内の人身事故件数や傷者数は微増傾向である。死者数については 32 名と大幅に増加しており、9 月 5 日には 18 年ぶりとなる交通事故非常事態宣言が発令された。
- 大船渡警察署管内の人身事故件数は、昨年比マイナス 8 件の 42 件である。わずかに減少しているものの、衝突の角度や速度のわずかな違いで人身事故になつてもおかしくないものもあり、決して油断できる状況ではない。死亡事故については、5 月の赤崎町地内の主要地方道大船渡綾里三陸線で発生した車両同士による正面衝突事故と、9 月の陸前高田市気仙町地内の港湾道路におけるコンクリート擁壁への衝突事故となっている。
- 警察では、交通安全講習や交通取締りを通じて運転者に対し緊張感を与える活動など、関係機関の皆さんの協力を得ながら立哨活動等に力を入れている。
- 人身事故は、特定の路線ということではなく、様々な場所で発生している。類型別件数では、出会い頭に次いで追突が多く、2 つで全体の半数を占めている。
- 飲酒運転は令和 6 年より多く検挙している状況にある。飲酒運転は悪質な犯罪であり、検挙と抑止を進めていく。

#### 【質問・意見等】

[安居委員]

県内の人身事故で死者数が増えた要素は何か。また、縦貫道はどの路線に属するのか。

[交通課 藤原課長]

県内の特徴としては、高齢者による事故が多く、岩手県に限らず全国的な傾向である。高齢者に対しては、危ないと思った時は運転しない、危険な時間帯、交通量が多い時間帯を避けることなどを願いしている。サポカーの検討もその 1 つである。

なお、縦貫道路は（県警）高速隊の管轄で、大船渡警察署の管轄は一般道路部分となっている。

#### ② 「管内の治安情勢等について」

※ 大船渡警察署生活安全課資料を提供（資料集 資料 No. 2）

「配付のみ。説明、質疑等はなし」

### (4) 特別講話

① 「最近の暴力団情勢について」

※ 大船渡警察署刑事課 佐藤刑事第二係長による講話（当日配付資料）

- 暴力団とは、暴力あるいは暴力的脅迫によって、自己の私的な目的を達しようとする反社会的集団である。
- 今話題になっている特殊詐欺は、反社会勢力の資金源となっている。
- 気仙地区にヤクザはいない状況であるが、何かあった場合は一般の方が被害を受ける可能性が出てくるので警戒している。
- 岩手県内の暴力団情勢は、全国同様に減っている状況である。大船渡警察署管内に暴力団員がいないといつても、出入りしている可能性もある。令和6年も奥州署、(盛岡)東署で、暴力団の事件について検挙している。
- 全国で暴力団排除条例を制定したことにより、警察と暴力団だけでなく、社会全体が暴力団を排除していくという動きに変化した。
- 匿名・流動型犯罪グループは、SNSなどで若い人たちを集め、特殊詐欺や強盗、窃盗、薬物売買を行うなど、一般の人を巻き込んでお金を渡していくという構造に変化している。SNSの普及により、このような不法行為が行われやすい環境にある。
- 特殊詐欺、SNS型ロマンス詐欺は、岩手県内でも大幅に増えており、大船渡警察署管内の特殊詐欺認知件数は8件。SNS型ロマンス詐欺による県内での被害額は約5億円で、管内でも1,230万円となっている。

【質問・意見等】

[安田委員]

認知件数とは、実際に被害に遭った方なのか。被害に遭わなくとも勧誘電話を受けたなどの通報を含むのか。

[刑事課 佐藤係長]

認知件数は、実際に被害があり、警察が被害届を受理した件数である。

[安田委員]

勧誘電話などを受けた場合は、逐次報告したほうがいいものか。

[刑事課 佐藤係長]

被害に遭っていないくとも通報はしていただきたいが、全部だと皆さん負担になると思うので、そこはケース・バイ・ケースである。

[江刺委員]

特殊詐欺とか投資・ロマンス詐欺にあわないために、改めて私たち一般市民はどういうことに注意すればいいか。

[刑事課 佐藤係長]

電話番号でプラス1とかの表示は国際電話なので、「プラスで表示された電話はまず詐欺」という認識を持つこと。インターネットで「海外に住んでいる」とか、もうけ話をしてきたら詐欺と認識していただきたい。

「警察です。何々県警です」ということもない。心配だったら一度、電話を切つて、その警察署の電話番号を確認したうえで、かけなおしてもらうのがよい。ラインやメッセンジャーで警察がやり取りすることはまずない。

[江刺委員]

プラス8は日本だが、取っても大丈夫か。

[刑事課 佐藤係長]

プラスはダメ。表示させる電話番号を細工することもできるらしいので、警察でも検察でも郵便局でも、一旦、切って、確かなところを自分から調べて、電話を掛けるのがよい。

## ② 「クマ被害のない安全な日常生活の確保について」

大船渡市農林水産部農林課による講話を予定していたが、急遽、欠席となつたため、資料集 資料No. 4およびパンフレット「クマに注意」を抜粋して、読み上げ、特別講話とした。

### 【質問・意見等】

[餘目大船渡市教育委員会事務局係長]

各小中学校のクマ対策では、保護者の送迎が一番多く、登下校に近々、出た場合は送迎、スクールガードの協力を得ながらの見守りや裏山の侵入経路を塞ぐ、柿の木の伐採などを実施している。

[菅原(宰)委員]

7月に末崎小学校下のラウンドアバウトをクマが横切ったため、直接保護者に児童を引き渡し対処とした。秋口から何回も出るようになり、ほとんどの家庭に送迎をしてもらっている。集団下校も考えたが、集団下校中にクマが出没した場合、対応のしようがない。生徒の登校前に爆竹を鳴らしているほか、休み時間に教師が校庭での見守りをしている。

[阿部委員]

大船渡小学校前で立哨しているが、最近、子供たちを送迎する車が多くなった。スクールガードは常に見守っているが、いないところを歩いて帰る子供たちが心配

である。これから冬休みに入るので、今まで以上に気を配って見張っていきたい。

〔石井委員〕

本校では1階の自動ドアの電源スイッチを切って、簡単に侵入できないようにしている。部活動については、大船渡市のクマ情報等を聞きながら、制限や注意喚起を行っている。

〔千葉委員〕

本店、大船渡支店の職員は、建物に近い本店の近くの駐車場に停めるよう指示が出ている。

涉外担当にも「気を付けて歩くように、無理をせず」という指示が出ている。

〔大和田委員〕

末崎町で毎日のように出没放送があり、そのたび、みんなピリピリしている。

〔江刺委員〕

おおふなぽーとについては、状況によって自動ドアを手動に切り替えるということを考えつつ、今は状況を見守っている。

〔司会／白土課長補佐〕

農林課の資料で、クマ出没時の通報が大船渡市になっているが、土日・夜間でも必ず職員が出て、警察署への情報共有がなされるので、クマを目撃した際は連絡いただきたい。

活動中に緊急に対応しなけれならない場合は、子どもたちの安全もそうですが、自身の安全の確保をしていただきたい。

## (6) 情報交換

以下の2題について、資料集の以下の資料により、事務局の大平係長が説明

- (1) 令和7年度岩手県暴力団追放県民大会／大会宣言について（資料No.4）
- (2) 市内小中学校等の青少年の冬休みの過ごし方の目安と安全指導について（資料No.5）

## 【質問・意見等】

〔司会／白土課長補佐〕

小中学校は夏休み期間が長くなった分、冬休み期間は短くなったのか。

〔餘目教委事務局係長〕

夏休みを1週間くらい延ばした分、冬休みを若干短く設定している学校が多い。

[司会／白土課長補佐]

高校の冬休み期間は変わりないか。

[石井委員]

変わりはない。

## (7) その他

[菅原(圭)委員]

緊急銃猟という言葉を最近よく聞くが、例えば、クマが家の中に入ったとか、入っているという状況のときに駆除してくれる方が大船渡市内にいるのか。地域にそういう方がいて、すぐに駆けつけますという状況なのか、それとも違う方法で追い払うのか。

[安居委員]

市では緊急銃猟マニュアルを10月に作成している。県内では洋野町と釜石市で既に緊急銃猟が行われた。

基本は罠を仕掛けて駆除する。当市ではクマ駆除班を構成しているが、実際、市街地で人が居住する中でとなると、撃つ判断はなかなか難しいところをご理解いただきたい。

[菅原(圭)委員]

そう簡単に緊急銃猟はできないことも様々なところで報道されているので、大変だと思っている。これからどれくらい続くのか分からないので、具体的な方策の検討を進めていただきたい。

[新沼委員]

クマ対策のため、柿の木の伐採を勧められるが、高齢者の一人暮らしになると思うようにいかないし、人を頼むとお金が掛かる。補助などは考えているのか。

[新沼協議会事務局長]

農林課で、地域単位で鳥獣対策に取り組んだ場合に柿の木の伐採に係る補助を行っていたはずなので確認いただきたい。なお、伐採した木の処分は含まれず、切株の脇や敷地内に重ねておく形だったと認識している。

[江刺委員]

「ながら見守り」の一環である車に設置するステッカーの報告をお願いしたい。

[事務局]

令和6年度の配付件数は283枚。令和7年度は、更新、新規併せて183枚を配布した。

民生児童委員協議会からの申し込みが、昨年118枚あったが、今年度はなかったことから数量が減少した。

(8) 閉　　会

白土課長補佐